

「地方就労・自立支援事業」推進 プラットフォームへの参加について（呼びかけ）

国においては、各自治体が、地域の実情に応じて取り組む「働き方改革」を支援することとしており、そのメニューの一つとして、地域連携等による「地方就労・自立支援事業」を掲げています。

さて、各位におかれても同様のご経験がおありかと存じますが、自治体の各種相談窓口には、仕事に就きたい、キャリアを伸ばしたい、生活の向上を図りたいと願いつつも、思い通りに進められずに半ば自信を失くしかけている、そんな相談者が多くおられます。一方で、人手不足に悩む事業者の声もお聞き及びかと存じます。

自治体によっては、就労を希望する方が、その自治体内のみならず、近隣自治体、さらに都道府県域を超えて就労にチャレンジできる環境づくりや、自治体間の連携による就労・生活支援の充実・強化などに取り組んでおられるものと思います。いろいろな自治体・地域と連携することによって、希望者の就労・生活の選択肢や内容が拡充することや、事業者の人材確保が円滑に行えることは大変意義あることと思います。

しかし、連携先の自治体を個別に見つけてつながるという方法、或いは、個別の自治体が、東京圏をはじめとする都市部の対象者に直接アクセスするという方法では、今後のより大きな展開は期待できないのではないか。こうした施策や事業を進めている我々にとって共通した認識です。

また、慣れない地域での就労や生活をお考えになるひとり親、若年無業者等は、それぞれに様々な背景をお持ちであるため、そうした事情に的確に対応することや、必要に応じた支援メニューが求められます。就労の場を提供する事業者に対する支援、応援も欠かせません。これらはどの地方で取り組まれるにしても、共通して必要となるノウハウです。

そこで、個別の自治体だけの努力で、こうしたノウハウを身に着けたり、連携先の自治体を見つけたりするのではなく、同じ志を持った自治体のプラットフォームを形成し、参加自治体が協働して本事業に取り組める体制を確保することが必要であると考え、今般、各自治体の同志に、プラットフォーム（準備）へのご参加を呼びかけることとした次第です。

このプラットフォームにおいては、本事業に取り組むために必要な知識、ノウハウ等を学ぶ場、自治体の情報交換が行える場を提供します。

プラットフォーム参加自治体は、そうした知識・情報を得た上で、それぞれの自治体において、当該自治体や受入の企業や事業者が、適切にひとり親家庭や若年無業者等を受け入れられる環境の整備に努め、或いは、ひとり親家庭や若年無業者等のニーズの把握、相談体制の確保等に努めていただきます。

こうした活動により、このプラットフォームが、必ずや、人材を必要とする事業者等と、就労・生活へのチャレンジを望むひとり親家庭や若年無業者等の双方のニーズを満たす機能を果たせるようになっていくものと確信しております。

是非、この趣旨にご賛同くださり、多くの自治体にご参加いただきますようお願い申し上げます。

平成 28 年 6 月 吉日

市町村長各位

呼びかけ人

| | | |
|-------|-----|----|
| 弘前市長 | 葛西 | 憲之 |
| 泉佐野市長 | 千代松 | 大耕 |
| 浜田市長 | 久保田 | 章市 |

(参考) 地域連携等による「地方就労・自立支援事業」について (先行事例)

地域連携等による「地方就労・自立支援事業」

都市のひとり親家庭や若者無業者が希望に応じて地方に住み、地域で能力開発を進め、ワークライフバランスが確保された安定的な就労を得ることを支援。

ひとり親家庭の地方就労支援 ー 浜田市・ひとり親家庭受入事業

ひとり親家庭の移住・就労支援と、地方の介護職員不足 解消の両方の課題解決

人材が不足している介護保険サービス事業所に対し、都市部で増加しつつあるひとり親家庭の受入れを行い、一定期間の産業体験を行う場合に要する経費の一部を助成。

対象者 ※次の全ての要件を満たす者

- ・ 浜田市外在住のひとり親家庭で、高校生以下の子と浜田市に移住する者(65歳未満)
- ・ 浜田市が指定する介護保険サービス事業所で就労が可能な者
- ・ 介護職場での就労が未経験(資格の有無は問わない)であり、研修終了後も定住し続ける意思のある者

研修期間 3か月以上1年以内

主な支援内容 ※市の一般財源、企業の負担による実施

- ・ 研修手当…月額15万円以上
- ・ 住宅手当…家賃の1/2補助(最大2万円)
- ・ 養育支援…1世帯につき月額3万円(1年)
- ・ 本体価格0円で中古自動車を提供
- ・ 事業所から引越し等の支度金として30万円支給
- ・ 事業所から1年間の研修終了時に100万円支給 等

若者無業者の地方就労支援 ー 泉佐野市・弘前市の連携事業

遠隔地の都市間連携による生活困窮者就労サポート

大阪周辺の就農希望の若年無業者等を泉佐野市が受け入れ、最低限の農業技術の習得並びに地方での暮らし方を習得させた後、担い手が不足する弘前市のリンゴ農家に場所を移して農業の実地研修を行う。

プログラム(例)

< 泉佐野市 >

農家さんの指導のもと、泉州ブランド野菜の生産、加工、販売、堆肥づくりまでの6次産業の技術を学ぶ。

6次産業体験コース(6次産業のいろはを学ぶ5日間)

| |
|-----------------------|
| 生産(泉州野菜の生産と収穫作業を体験) |
| 加工(漬物などの加工品を体験) |
| 販売(大阪市内のマルシェでの販売体験) |
| 堆肥づくり(バーク堆肥などの土づくり体験) |
| 地方での暮らし講座 |

< 弘前市 >

泉佐野で一通りの農業技術と地方での暮らし方を学び、弘前市へ渡り、現地のりんご農家さんと農業体験。

まるかじりコース(りんご生産1週間体験)

| |
|--------------------|
| 1日目 → 異動・オリエンテーション |
| 2~4日目 → りんご生産体験 |
| 5日目 → 堆肥づくり |
| 6~7日目 → りんご生産体験・移動 |